

5月5日を「犬山・桃太郎の日」とする条例制定を求める請願

犬山市議会議長 柴田浩行 様

請願団体 犬山日本一桃太郎会

請願代表者

住所

氏名

紹介議員

畑 竜介

<請願趣旨>

桃太郎の物語は誰でも知っている日本の昔話です。

そして、犬山には桃太郎神社があり、2030（令和12）年には神社遷座100周年を迎えます。この故郷の民話には、自然の中で動物とともに学んできた日本人の倫理観が込められ、21世紀のSDGsのような、大切な教育理念も示唆されています。5月5日、国民の祝日「こどもの日」に重ね、この日を犬山独自の「桃太郎の日」とし、故郷の子ども中心の祝日として祝いたいのです。

<請願事項>

5月5日を「犬山・桃太郎の日」と条例制定してください。



「桃太郎の日」請願書 添付資料①

請願団体「犬山日本一桃太郎会」について

「犬山日本一桃太郎会」は吉田初三郎（鳥観図師）が昭和5年に結成した「日本一桃太郎会」に倣い犬山を日本一の桃太郎伝説地にし、「犬山で桃太郎に出会う」をテーマに、その魅力を伝える為に結成されました。

桃太郎神社は「子供の守り神様」として古くから地元の人達に愛されてきました。未来を担う子供は“国の宝であり社会の宝”でもあります。この世界共通の理念・真実の実現を祈る唯一無二の神社“桃太郎神社”が我が故郷“犬山”にある事は大変誇らしい事であると思います。

“桃太郎”という日本人なら誰もが知っている御伽噺の「ヒーロー」の伝説発祥地“犬山”が多くの方から「桃太郎と言えば犬山!」と言われるように、そして「桃太郎・栗栖地区」が“桃太郎”と出会いたくなるような“桃太郎の聖地”とでも呼んで頂けるような、そんな願いを込めて「犬山日本一桃太郎会」を立ち上げました。

2030年に桃太郎神社は遷座100周年を迎えます。これを機に様々な情報発信やイベントなど計画しております。犬山城下町は今、大変な活況を呈しており、この観光客を桃太郎公園に誘導する事で犬山市が目指す“域内循環型観光”の確立に貢献し、“木曽川流域観光圏”の更なる賑わいを作り出す事も、私達の大きな願いであります。

平成6年8月20日

犬山日本一桃太郎会 会長 加納三治

犬山の「桃太郎神社」のユニークさ(1、2、3、4)

“岡山の桃太郎”と 相並ぶ実力を持つ



“桃太郎と言えば犬山！”

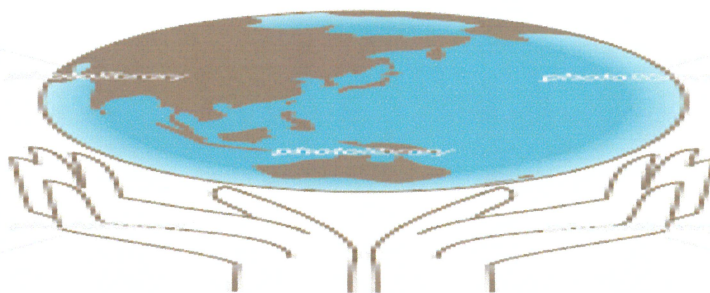
1 子供の守り神様

・世界共通の理念・真実である「未来を担う子供は国の宝、社会の宝」

世界共通の理念・真実の実現を祈る唯一無二の神社

「未来を担う子供は国の宝！社会の宝！」

桃太郎神社 子供の守り神様



社会の宝である子供達が、優しく・強く “桃太郎” のように育て欲しい

2 芸術性

著名な“芸術家”が神社創設に関与

・吉田初三郎(鳥観図師:大正の広重といわれた)が神社創設に多大な貢献

＊名鉄との深い関係:名鉄常務 上遠野富之助氏の招きにより大正12年
犬山にアトリエ(蘇江画室)開設、数多の鳥観図を作成、犬山観光に多大な貢献

・浅野祥雲(コンクリート彫像家)の桃太郎に纏わる像が数多あり

→ 桃太郎・栗栖地区をより“ファンタジーな御伽噺の世界”へ誘う

3 桃太郎伝説の実証(桃太郎伝説に相応しい数多の地名)

犬山市を中心に木曽川流域の岐阜県可児市、加茂郡坂祝町など

桃太郎伝説の地名が存在

例)酒倉、坂祝、取組、宝積寺、勝山、猿洞、犬帰り、雉ヶ棚 等

4 桃太郎音頭(犬山市が継承すべき“伝統芸能文化遺産”)

“犬山音頭”とともに日本の童謡界の三大詩人の一人である野口雨情が作詞

(曲:藤井清水)、昭和4年新愛知主催の中部日本の代表民謡小唄で1位取得。

(童謡界三大詩人:野口雨情、北原白秋、西條八十、)

“桃太郎神社“ のユニークさは「観光文化都市犬山」に相応しく、次世代に向け更なる
磨きをかける価値のある重要な観光資源である。